

仏教とお寺をやさしく解説

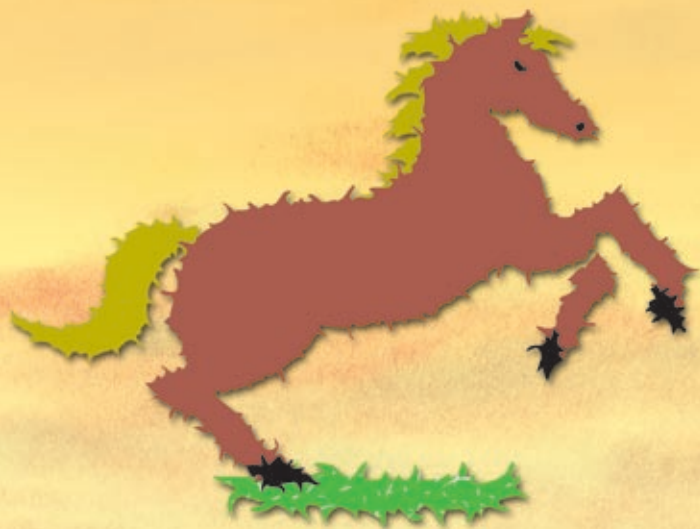
さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2014年1月
第15号
(年4回発行)

新年号

発行部数3千部



「除夜と元旦」／ 丹羽義昭住職インタビュー

シリーズ浄土宗／お釈迦さまの説法「初転法輪」

実践教室／人生の節目と仏事

・七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会)

・厄払い節分会法要のご案内

今年は、異常気象と言われるほどの夏の暑さや、台風による自然災害などがニュースでも多く取り上げられました。

また、七年後のオリンピックの開催地が東京に決まったことは日本が元気になる明るい話題だったのではないのでしょうか。

平成二十五年は皆さんにとってどのような年でしたか？

年の終わりに一年を振り返り反省し、新しい気持ちで新年を迎える。除夜と元旦についてご住職にお話しを伺いました。



丹羽義照住職



問 今年を振り返ると、いつにも増して連日の猛暑を記録した夏や、秋には台風の被害が多く出るなど自然災害にも見舞われる年でしたね。

住職 そうですね。地球の気象状況が変わってきているのでしょうね。秋になっても夏みたいな日が続きたり、そうかと思えば急に寒くなったり、季節の変わり目を楽しむという余裕もなかったように思います。

問 一年が経つのはあつと言う間ですが、ご住職にとって今年はどういう一年でしたか？

住職 今年は、被災地に行く機会が多かったので、日々も追われるように過ぎてしまつて、いつもより早く時が流れたような気がしますね。

震災から二年以上が経って、皆さんの記憶も過去のこととなりつつありますが、被災地ではまだまだ復興は進んでいない状況です。ですから今年も、西願寺や幼稚園でもチャリティー活動が続けてきました。夏は団扇での募金活動や、十月には、薩摩琵琶が演奏された十三夜チャリティーコンサートを開催したり。

問 企画や準備などにも追われる一年だったのですね。

年末というと一年を振り返ること他に、除夜の鐘や年越し蕎麦なんかも頭に浮かびますね。

住職 大晦日の行事は平安時代頃から行われていたそうです。もっともその頃は、貴族の間で行われることで庶民に伝わったのはずっと後のことですね。

問 本来、大晦日は歳神様を祀る準備の日で、仏教の浸透とともに除夜の鐘の習慣も生まれたそうですね。

「除夜は一年の反省と無事への感謝の意味」

問 毎年、お正月を迎えるにあたって除夜の鐘を聴くことが全国的な慣習になっていますね。鐘を突く人、聴く人、それぞれ心に期するものがあると思いますが、除夜にはどのような意味があるのでしょうか？

住職 除夜の鐘が響くと一年の終わりを感じずにはいられませんね。残念ながらうちには鐘はありませんが（笑）。除夜には、一年の反省と無事に過ごせた事への感謝の意味があります。煩惱をはらい心身ともに清浄になって新しい年を迎えるということです。

問 除夜が明けると元旦ですが、仏教では修正会という法要が行われるそうですね。どのような法要なのでしょう？

住職 修正会は、宗派を問わずに行わ

れます。年のはじめに国民みんなの平和や健康を願ってという意味が込められているのですが、浄土宗では、「天下和順」にはじまる『無量寿経』の一節が読まれます。

問 西願寺でも法要が行われるのですか？

住職 うちの寺の場合は、夜中の〇時と朝の七時にお勤めをしますがお参りにみえるかたは少ないですね。それでも、今年の元旦のお参りには何人かがいらっしやいました。

問 そうですか。元旦の迎え方は、各家庭様々だと思いますが、ご住職の子供の頃はいかがでしたか？

住職 まず朝のお勤めをして、前住職が家長として新年にあたり一言：という感じでした。

問 わかります。私の家でもありました。年の初めの家長の一言（笑）。それでは、最後に、ご住職より新年を迎えるにあたり読者の皆さんに一言お願いします。

住職 「二歩前に」ということですね。

一歩一歩前に向かつて歩みを進めることを目指して欲しいと思います。

私自身もそうですが皆さんにも、何か壁にぶつかったり、面倒に思えることでも、眼を背けずにそれを乗り越える為にはどうしたらいいのか工夫して先に進もうという強い気持ちを大切にしたいです。

問 なるほど。一歩ずつでも先に進むことは大事ですね。少し進んだだけでも景色は変わるものですよ。本日は、ありがとうございました。新年も宜しくお願いします。

東日本大震災 復興支援義援金の報告

- 十三夜お月見チャリティーコンサート …… 27,460円
- チャリティー団扇 …… 14,945円
- 幼稚園、その他の会及び住職 …… 57,595円

合計100,000円を陸前高田市へ届けました

「四諦八正道」 I

お釈迦さまは、ブツダガヤーの菩提樹の下で真理を悟り仏陀となりました。仏陀とは「目覚めた人」という意味で、その悟った真理は縁起の理論（苦しみを巡る因果関係）であったと伝えられています。



悟りを得たお釈迦さまは、ブツダガヤーからサールナート（鹿野苑）におもむき、はじめて五人の求道者にその内容を説きました。この初めての説法を初転法輪といい、その内容は仏教の根本原理とされる「四諦八正道」と呼ばれるものでした。

人は欲望によって苦しみが生じ、人生は苦しみに満ちている。

しかし、8つの実践方法によって、苦しみが消滅し、涅槃に到達することができる。

四諦は、苦しみに関する4つの真理

四諦とは、苦諦、集諦、滅諦、道諦のことで諦は「真理」という意味です。

苦諦は、人生は苦しみに満ちているという真理。

集諦は、苦しみに原因があり、それは欲望であるという真理。

滅諦は、苦しみの原因である欲望を消滅させた状態が悟りを得るということであるという真理。

道諦は、悟りに到達するための実践方法があるという真理。

この4つの真理は、原因があつて（集諦）苦しみが生じる（苦諦）。実践によって（道諦）、苦しみが消滅する（滅諦）。というように二つの因果関係から構成されています。そして道諦の、悟りに到達するための実践方法が八正道と呼ばれる8つの実践方法なのです。



人生の節目と仏縁

人は誕生してからさまざまな節目を
通って成長していきます。

子供の誕生を喜んだり、親の死に悲
しむなど、お寺は、そのような嬉しい
時、悲しい時にご本尊や先祖に報告を
聞いてもらうところでもあるのではな
いでしょうか。

また成長にともなって祝う仏事では、
七五三や成人式、結婚式など様々な通
過儀礼も仏縁を深くする機縁と大切に
考えたいですね。

「命名式・初寺参り」

初寺参りは、生
後一カ月から一
〇〇日目くらい
までに子供を連
れてはじめてお
寺にお参りする
ことです。

「命名〇〇」と子供の名前を半紙に
書いて仏前に供えます。



「七五三・お稚児さん」

七五三の起源は室町時代といわれ、
江戸時代に武家社会を中心に全国にひ
ろまったとされています。

かつて乳幼児の死亡率が高かったこ
とから子供の成長の節目のお祝いとし
て、また今まで無事に成長したことへ
の感謝とこれからの長寿を願う意味を
こめて、菩提寺にお参りします。

「成人式」

二〇歳にな
ると、一人前
の大人として
認められます。

また受戒の資格が認められることでも
あります。大人となる節目に人生を念
仏のよりどころとして生きることを誓
うよい機会です。



「仏前結婚式」

結婚式の形式は、
神式、キリスト教
式、人前式などい
ろいろありますが、
新しい人生の門出
を阿弥陀さまの前

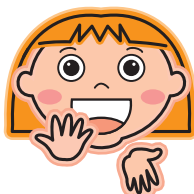


暮らしの中の
仏教語

「ちょうだい」

お正月は、子どもたちから「お年玉ちょうだい」とせ
がまれる頭の痛い季節。辞書によると「頂戴」はもらうの
へりくだった言い方とあります。

仏教の「頂戴」は、仏の考えや經
典などを頭のてっぺんまで頂戴することだそう
です。だから一般には、敬いながら、
尊びながら、モノやお金をもらうこ
とを「頂戴する」というようになった
のだとか…。



で誓いあうのが仏前結婚式です。
仏前結婚式は、仏典にあやかり「行
華」といって、新婦が持っている七本
の花のうち五本を新郎に渡し、ともに
仏前にそなえて結婚の証とします。そ
して仏・法・僧の三宝に帰依し、寿玉
(数珠) が授与されます。
また、寺院の本堂だけでなく、ホテ
ルや結婚式場でも執り行えます。

遊馬・柳島 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会) のご案内

7カ所の神社寺院をめぐり御朱印をいただく楽しい行事です。
ゴールの西願寺では開運七草粥をお召し上がりください。

新年最初の行事で健康的に楽しく新しいを迎えませんか？

どなたでもご参加できますのでどうぞお気軽にご参加ください。

日 時 平成26年1月7日(火)

10:00から12:00の時間内で巡っていただきます

参加費 100円 (※保険料として)



西願寺 平成25年度 東日本大震災復興支援 第4回 十三夜お月見チャリティー コンサート開催報告

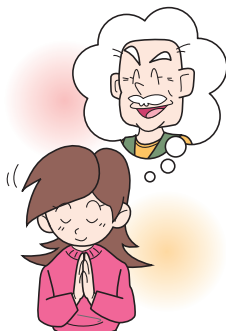


去る、10月18日、西願寺
本堂にて薩摩琵琶奏者の北
原香菜子さんを迎え第4回
お月見チャリティーコンサ
ートが開催されました。この日、薩摩琵琶の
演奏が秋の一夜を彩りました。

平成26年 年回表

年ごとの命日を祥月命日といい、年回にあたった年の、この日に行う法要が年回(年忌)法要です。この法要では亡くなった方とご縁のある方が集まり、故人を偲びながらお勤めします。

- 1周忌 平成25年逝去
- 3回忌 平成24年逝去
- 7回忌 平成20年逝去
- 13回忌 平成14年逝去
- 17回忌 平成10年逝去
- 23回忌 平成4年逝去
- 27回忌 昭和63年逝去
- 33回忌 昭和57年逝去
- 37回忌 昭和53年逝去
- 50回忌 昭和40年逝去
- 100回忌 大正4年逝去



厄払い 節分会法要 (豆まき)のご案内



西願寺では、節分会法要を開催いたします。

当日は、厄払い法要の後、関取による
豆まきが行われます。

平成26年度に前厄、本厄、後厄にあたる善男善女の方は是非お申込みご参加ください。

冥加料 10,000円(祈祷料、会食代)

日時 平成26年2月3日(月)

10:00 受付

10:30 節分会法要

11:30 豆まき

※尚、豆まきのみのご参加は、浄財としてお賽銭(灯明料)をお願いいたします。

各行事の参加申し込み・お問合せは
西願寺までご連絡ください
西願寺

TEL. 048-925-1723
FAX. 048-925-1789

掲 示 板

◆ 塔婆お焚き上げについて ◆

一定期間を過ぎたお塔婆は、墓所より下げてお焚き上げをしております。

当園では、塔婆のお申込又は墓所に立てる際に、塔婆お焚き上げ料として1本につき1,000円を頂いております。

※お皆様ご同行の方（霊園以外で塔婆をお申込の方）は墓前に塔婆をあげる際に事務所に申し出ください。

彩の都メモリアルパーク 管理事務所 TEL. 048-921-4194

管理料変更のお知らせ

消費税改定に伴い、平成26年度4月からの管理料の変更があります。詳細につきましては、追ってお知らせいたします。

次号予告

次号は平成二十六年二月発行予定の「春のお彼岸号」です。

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「ごんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビルF
FAX 03 (32695) 1302 Mail: info@o-conet

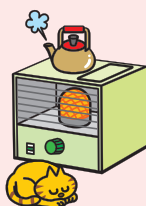
◆ イオ株式会社

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていふこと、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

■ お便り募集 ■

西願寺 平成26年 年間行事案内

- ※1月 1日(水) 修正会（新年をむかえての法要＝おつとめ）
- ◎1月 7日(火) 七福神めぐりウォーキング（新年開運七草粥の会）
- ◎2月 3日(月) 厄払い節分会法要
- ※2月15日(土) 涅槃会（お釈迦さまの命日）
- ◎3月18日(火) 春の彼岸会
～24日(月)
- ※4月 8日(火) 灌仏会（花まつり）
- ◎7月13日(日) お盆会（東京棚経）
～16日(水)
- ◎8月 3日(日) 合同新盆供養
- ◎8月13日(水) 旧盆会（地元棚経）
～16日(土)
- ◎8月18日(月) 大施餓鬼会
- ◎9月20日(土) 秋の彼岸会
～26日(金)
- ◎10月10日(金) 第5回十三夜お月見コンサート
- ※11月23日(日) 十夜会（念仏をとなえて善根をつむ法要＝おつとめ）
- ※12月 8日(月) 成道会（お釈迦さまのお悟りの日）
- ※12月25日(木) 仏名会（念仏をとなえて一年を反省する法要＝おつとめ）



毎月25日は 念仏会を開いております
◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。
※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要＝おつとめです。



◆編集後記◆

もうすぐお正月ですね。「元旦」は1月1日のこと、そして「元旦」というのは1月1日の朝の事をいいます。「元」の字には「一番初め」という意味があり「旦」という字は「あした(朝)」「夜明け」の意味があるのだそうです。大晦日には今年の反省をしつかりして、清々しい気持ちで元旦を迎えたいですね。

さて、2009年1月に創刊された「さんが」も今号で5年目を迎えます。新しい年も皆さんに楽しんで頂ける紙面作りに一生懸命がんばりたいと思っております。「さんが」に対するご意見、ご希望などがございましたらどんなお寄せください。

新年もどうぞ宜しくお願いします。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部